

／抗ウイルステーブル・パネルとは

解説

抗ウイルス性能を付与したメラミン化粧板を採用した抗ウイルステーブル・パネルです。メラミン化粧板成型時に抗ウイルス剤を付着させることで、抗ウイルス剤がメラミン化粧板表面に強固に付着し、通常の拭き掃除では抗ウイルス剤の脱落はなく、抗ウイルス性能の耐久性が大幅に向上しているため、長期間お使いいただけます。また濃度 0.02% の次亜塩素酸ナトリウムで拭き掃除をしても、抗ウイルス性能は低下することなく、メラミン化粧板表面が劣化することはありません。

特徴

- 1 メラミン化粧板成型時に抗ウイルス剤を付着させるため、耐久性に優れています。
- 2 銀系の抗ウイルス剤を使用しているため安全であり、光触媒と異なり暗所でも変わらない抗ウイルス性能があります。
- 3 濃度 0.02% の次亜塩素酸ナトリウムでの清掃でも抗ウイルス性能低下や表面劣化はありません。
- 4 耐指紋性能を付与してあるため、指紋汚れが目立ちにくい仕様になっています。

注意事項

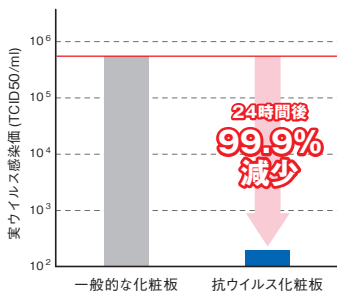
- 1 アルカリ性洗剤、酸性洗剤、及び塩素系成分を含む洗剤を使用すると、化粧面が変色・劣化する場合があります。
- 2 抗ウイルス剤は表面付近に付着させているため、表面が削れたり、傷ついたりすると抗ウイルス性能は低下します。

／一般機関による試験測定値 一般機関による一般メラミン化粧板との比較と抗菌・抗ウイルスの効果

ウイルスによる試験

インフルエンザウイルス

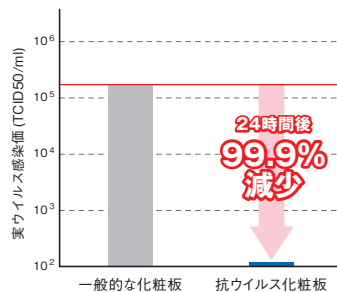
インフルエンザウイルスに対する抗ウイルス効果



試験方法/参考規格:ISO18184、JIS Z 2801
試験ウイルス/インフルエンザウイルス
試験開始時 感染価 (TCID50/ml)/ 1.8×10^7

ネコカリシウイルス(ノロウイルス代替)

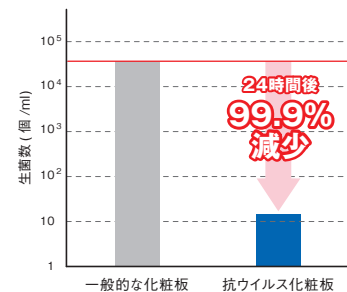
ノロウイルス代替(ネコカリシ)に対する抗ウイルス効果



試験方法/参考規格:ISO18184、JIS Z 2801
試験ウイルス/ネコカリシウイルス(ノロウイルス代替)
試験開始時 感染価 (TCID50/ml)/ 1.8×10^7

腸管出血性大腸菌 O-157

腸管出血性大腸菌O-157に対する抗菌効果

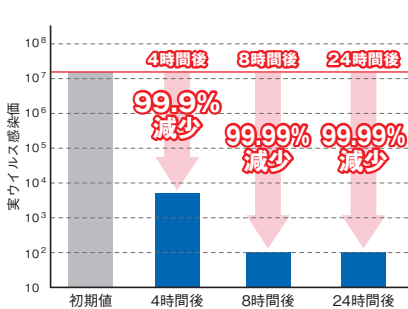


試験方法/参考規格:JIS Z 2801:2010準用
試験細菌/腸管出血性大腸菌O-157
試験開始時 細菌数 (個)/ 7.1×10^5

即効性・耐久性について

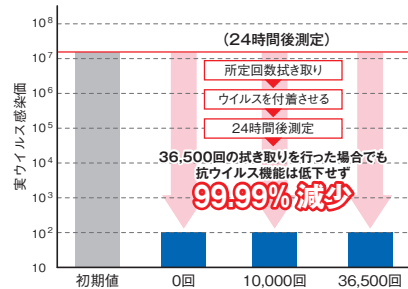
抗ウイルス性の即効性 (QBファージウイルス)

試験方法はJIS R1756に準拠



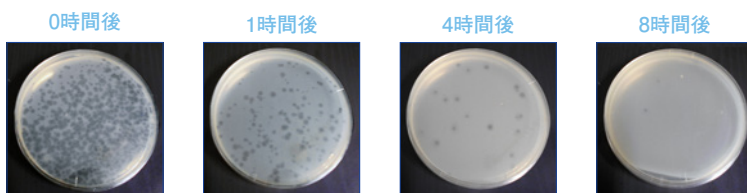
抗ウイルス性の耐久性 (QBファージウイルス)

水拭き機械にて所定回数拭き取り後、ウイルスを付着させて測定を行う試験方法はJIS R1756に準拠(光照射せず)



ウイルス不活性化

●時間経過による細菌量



ウイルスの不活性化

※当データは実環境での感染予防を100%保証するものではありませんが、感染のリスクを大きく軽減できるものと考えています。
上記データは測定値であり、保証値ではありません。